

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

パーパス

イノベーションによって社会に信頼をもたらし、世界をより持続可能にしていくこと

Fujitsu Uv
4,828億円温室効果ガス削減量
50%お客様NPS上昇
20ポイント女性幹部社員比率
20%

② 中長期の経営戦略

1. 事業モデル・ポートフォリオ戦略

Fujitsu Uvanceを中心とするサービスソリューション拡大。2024年度はVertical領域が32%から36%に伸長。ハードウェアソリューションは分社化で競争力強化。

3. テクノロジー戦略

生成AI強化。Cohere Inc.と共同開発した「Takane」を「Fujitsu Kozuchi」で提供開始。量子コンピュータは256量子ビット機を開発。

2. カスタマサクセス・地域戦略

モダナイゼーションビジネス2024年度売上86%増。海外ビジネスは利益体質へ構造改革推進。Asia Pacificは2025年4月より国別体制へ変更。

4. リソース戦略

ジョブ型人事制度に移行。2026年4月から新卒入社者にも適用。2023～2024年度で報酬を約20%引き上げ。ポスティング制度で年間平均約3,000人が異動。

③ 対処すべき課題

① 既存IT市場の縮小対応

- 従来型基幹システム市場が緩やかに縮小。クラウド化・デジタル化投資への転換が急務。
- 生成AIやデータ分析への投資需要増加。テクノロジー戦略での差別化が必須。

② グローバル営業利益率改善

- 海外セグメント売上2023年度比2.4%減も営業利益率は1.7%から4.1%に改善。
- Europe・Americas・Asia Pacificの各リージョンで採算性低い事業を整理・再構築中。
- 2025年度の構造改革完了に向け引き続き改善推進。

③ 人材ポートフォリオ実現

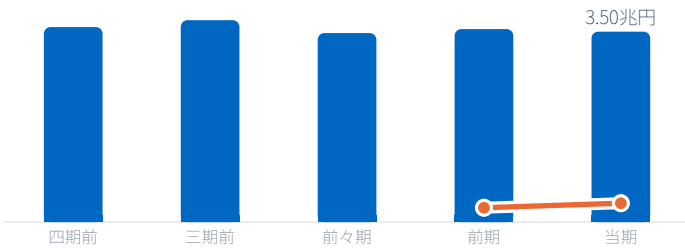
- 事業成長に連動した人材配置。ジョブ型制度で2026年新卒にも適用予定。
- グローバル報酬競争力強化。2023～2024年度で約20%引き上げ。
- リスクリング活発化。年間約3,000人がポスティング制度で異動。

面接で使えるポイント

- 2030年ビジョン『ネットポジティブを実現するテクノロジーカンパニー』。
- Fujitsu Uvance2024年度売上4,828億円（前年比31%増）。
- マテリアリティ3分野（環境・デジタル社会・ウェルビーイング）で13課題設定。

証券コード 6702

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
3.50兆円営業利益率
9.9%財務健康度
58点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 64.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,012万円

電気機器内 13位/225社

平均年齢
42.7歳

電気機器内 137位/225社

平均勤続
17.6年

電気機器内 66位/225社

女性管理職
13.1%

電気機器内 15位/182社

男性育休
94.1%

電気機器内 51位/171社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 富士通Japan、中規模病院および診療所向け医事会計システム

